

第10回島根支部学術集会

学術集會会長：国立病院機構松江医療センター院長 徳島 武

2011年9月17日(土)、松江くにびきメッセを会場に、「高めよう地域医療連携と役割分担」をテーマとして、第10回日本医療マネジメント学会島根支部学術集會を開催致しました。県内外の33の医療機関から約350名の参加を頂き、とても有意義な会となりました。

現在の厳しい島根県の医療情勢を改善するには、少ない医療資源をいかに効率的に運用して、良質な医療・介護サービスを提供することが重要であり、それには各医療機関が各々の役割を分担し、緊密な連携を図ることが大切です。

そこで特別講演として、長崎大学医療情報部准教授の松本武浩先生に「長崎県におけるITを使った医療連携～あじさいネットでかわる地域医療連携～」と題してご講演頂き、今年から構築する「医療ネットしまね」という、島根の地域医療連携ITシステムの取り組みの大変参考になりました。

またランチョンセミナーは、大分市やまおか在宅クリニック院長の山岡憲夫先生に、「大分市全体をホスピスに～チーム地域連携による～」と題して、緩和医療や在宅医療におけるチームの地域医療連携の取り組みについて、ご講演を頂きました。

さらに地域医療連携のシンポジウムでは、行政、急性期病院、慢性期病院、介護の立場から現状と問題点を発表、討議して頂きました。その他一般演題、ポスター演題も充実した内容で、今回初めて5大がんの連携クリティカルパスも発表されました。最後に、来年の医療・介護の同時改定を控え、テーマであった地域医療連携に対する関心も一際高まっています。関係者の皆様のご支援に感謝申し上げ、本会の成果が広がることを願って開催報告とさせていただきます。

第11回北海道支部学術集會

学術集會会長：中村記念病院理事長 中村博彦

第11回北海道支部学術集會を2011年10月8日(土)にロイトン札幌で開催し、148名の参加をいただきました。「院内連携・地域連携と医療マネジメント」をテーマに掲げ、特別講演



会場風景

1題、ランチョンセミナー1題、一般演題(口演)27題の発表が行われました。

特別講演ではNTT東日本関東病院院長の落合慈之先生をお迎えして「医療連携～JCI受審から学んだこと」と題

し、JCI受審のご報告により、改めて病院内の医療連携の重要性を示していただきました。ランチョンセミナーでは、北海道大学病院地域医療指導医支援センター長の藤森研司先生に「地域連携と病院マネジメント」と題して、地域における各病院の地域連携の在り方についてご講演いただきました。

一般演題では医療安全、業務改善、地域連携、質の向上などに関する発表と活発な討論が交わされ、大変有意義な学術集會となりました。皆様のご参加と、ご支援ならびにご協力に感謝申し上げます、開催報告とさせていただきます。

第5回三重支部学術集會

学術集會会長：山田赤十字病院院長 村林紘二



会場風景

2011年10月15日(土)、山田赤十字病院(新病院名：伊勢赤十字病院)、1階ホールにおいて第5回日本医療マネジメント学会三重支部学術集會が開催されました。今回は「三重県

の医療の質向上を目指して」をメインテーマに山田赤十字病院、村林紘二先生を学術集會会長として開催されました。会場に開院前の新築病院ホールを提供いただいたため学術集會に先だつて院内見学が実施され時代のニーズに則した設備を有する新病院が紹介されました。学術集會には県内の主だった病院から105名が参加し、一般演題では19題の発表があり活発な討論が行われました。特別講演として医療のTQM推進協議会、理事・事務局長の北島政憲氏による「医療の総合的質マネジメント」の御講演があり、参加者は今後の医療の質向上に向けての決意を新たに真剣に傾聴していました。最後に本会が盛会のうちに終了できましたことを、ご協力いただきました関係各位に深謝申し上げます。

第11回東北連合会学術集會

代表世話人：青森県立中央病院副院長 藤野安弘

2011年10月22日(土)、青森市のラ・プラス青い森を会場に、青森県立中央病院 藤野安弘副院長を会長として開催されました。



会場風景

3月11日の大震災のため、急遽メインテーマを「大災害時における医療管理」とし、「東日本大震災～そ